

= 二足の靴 東京 - 天草徒歩の旅 =

2008.MAY 27th ~ JULY 7th

それは、土地と土地の本当のキヨリを体験し、形にすること。
現代社会や僕自身も キヨリはもう無くなりつつあり、マヒしている。
本当のキヨリとは実は素晴らしいものはず。
それを体感し形にする。
300年前は当たりまえのこと。
動物として当たりまえのこと。
生まれ育った地から居住する地へ。

土地と土地
人と人
生きることと死ぬこと
その“本当の”キヨリを感じ形にする。
生まれ育った東京と 居住している天草を
歩き感じ形にする

リンネ・ザ・ソウル

アノ、天草在郷美術館館長の加藤笑平くんが、新しいアート・パフォーマンスをはじめます。

題して、「二足の靴：東京 - 天草徒歩の旅」。

笑平くんが生まれた東京から、現在、住んでいる天草まで、約1,050キロを歩き、その土地土地で感じたことを描き残していくというものです。

東京・八王子で開催される「アート・ムーチョ in 八王子」でのパフォーマンスを終了後、八王子を出発します(5月27日[火])。

その後、徒歩と海上交通などを組み合わせながら、伊豆、伊勢、丹後、室津大島、佐田岬、国東と、6つの半島地域を經由して、最愛の妻ゆうこさんと息子たくえくんの待つ第二の故郷、宇土天草は佐伊津へ7月7日(月)[七夕]までに戻ろうという、壮大なing型、アート・パフォーマンスです(旅の途中で、書きためられるスケッチは、帰郷後、天草在郷美術館での企画展に使われる予定だそうです)。

さて、このプロジェクトに、半島人の皆さんも参加して欲しいのです。参加の方法は簡単。訪ねてくる笑平くん、ひと夜の宿と美味しい食べモノ、そして、皆さんの愛をおすそ分けしていただければ結構です。

現在のところの予定は、こんな感じだそうです。どこまで笑平くんが来ているかは、GPS携帯で連絡をもらい、ホームページ半島を行くで情報を更新していきます。是非、皆さんのご参加のご連絡をお待ちしております(中山まで)。

